



ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 新型コロナウイルスワクチン.....2
- 市民課などの一部窓口でキャッシュレス決済開始.....3
- 9月は東京都の自殺対策強化月間.....6
- 風水害に備えて早めの情報収集を.....11
- 第4回日本映画人気投票は9月5日(日)まで.....14



発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集：行政経営部広報課

市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
☎050-5357-9679へ

新型コロナウイルス感染症
緊急事態宣言
発令中!

日中も含む不要不急の外出自粛 引き続き基本的な感染防止対策の徹底を

感染防止対策については3面へ →




東京2020 パラリンピック競技大会が ついに開幕!

8月24日(火)~9月5日(日)

パラリンピックは、障害のあるトップアスリートが出場するスポーツの祭典です。4年に1度、オリンピック競技大会の開催地で行われます。
市内にある武蔵野の森総合スポーツプラザが車いすバスケットボールの競技会場となっています。
障害のあるトップアスリートたちの高いパフォーマンスや熱い戦いを応援しましょう。



ミライトワ

☎ オリンピック・パラリンピック担当 ☎481-7447

詳細は8・9面へ →→→

©2019(一社)日本障がい者
パドミントン連盟



調布市長
友貴樹

ワクチン接種は順調に進展しており、市内で希望された高齢者はほぼ接種を終えています。次の重要ポイントの一つは若者の接種率を上げることです。若い世代に申し上げます。ワクチンの効果により自身の罹患率が低下し、それにより周囲の方が感染する確率を下げることが出来ます。愛する方を守るために、どうか早期の接種をお願いします。

愛する人を守るために
昨年来、言うまでもなく市の関与の有無を問わず、あらゆるイベントが中止のやむなきに至っている。そして、そのことについてやるせない思いを述べることさえも憚られるような空気が社会全体に漂っている。なんと残念なことだろう。
たとえば「パラハートちようふ」ご記憶に留めて頂いているだろうか。「市内外の多くの方々さまざまな障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる共生社会の充実を図る」。そのキャッチフレーズのもとに、昨年1年間だけでも、福祉、健康、教育、文化、環境、スポーツ、まちづくりなどの多岐にわたる分野で100近い事業を展開する予定だったが、大部分が実施できないことになってしまった。ただ、事業の中止はやむを得なかったとしても、もちろん共生社会充実の旗を降ろしたわけではない。東京パラリンピックの機会に、日常以上に、今一度その意義を強く確認したいと考えている。

手をつなぐ樹 389